

美術を楽しむ・わたくし流

# 音楽物語

## 「アナトール×アトナール」

朗読・高島由里

バソン演奏・井村雅音

ピアノ演奏・栗田美佐

3月1日(土) 午後2時-2時30分

徳島県立近代美術館 展示室1(2階)

\*直接会場へお越し下さい。観覧料が必要です。

あらすじ・・・バルナベさんは、パリの街角で、  
逆立ちなどの曲芸をする軽業師。

ひとりぼっちで、その日暮らし。気ままな  
生活が気に入っているけれど、  
「ほんとにこのままでいいの  
か?」と、ふと考える。

そんなある日、バルナベさんは  
ひとりのお坊さんに出会って、修道院に入る  
ことになった。聖母マリア様に仕える日々。他のお  
坊さんたちは、自分の得意わざをいかして、詩を書いた  
り、絵を描いたり、マリア様のために働いている。でも、  
バルナベさんは「自分には何もできない」と悩む日々・・・  
ひたむきで精一杯の気持ちがひきおこした、奇跡の物語です。



### 出演者紹介

#### 高島由里(たかしまゆり) 朗読

元NHK徳島放送局キャスター、元あい  
テレビ(愛媛県の民放)アナウンサー。  
現在は、ケーブルテレビ徳島で、情報番  
組「らぶ!らぶ!徳島」を担当。また、ク  
ラシックと朗読による音楽童話で、県内  
の小学校を訪問している。

#### 井村雅音(いむらもとね) バソン

京都市立芸術大学音楽学部管打楽器専修  
卒業。在学中より、音楽と演劇の表現活動  
集団「アンサンブルREM」を結成。演奏・脚

本・編曲を担当し、数々の劇団と共演。ファ  
ゴットを光永武夫、バソンを小山清 各氏  
に師事。バソン奏者として、日本のほかフ  
ランスでも演奏。作曲や編曲も手がける。

#### 栗田美佐(あわたみさ) ピアノ

国立音楽大学卒業後渡独。シュトゥットガ  
ルト音楽大学大学院ピアノ専攻終了、ト  
ロツシンゲン音楽大学大学院室内楽専攻  
終了後帰国。平成15年度(財)徳島県文化  
協会主催第10回芸術文化奨励賞を受賞。  
松前フサ子、足立範子、藤澤克江、S・ルティ  
アコフの各氏に師事。室内楽をA・スピリ、  
W・ヴァーゲンホイザーの各氏に、歌曲解  
釈法をW・キューブラー氏に師事。

### 出演者からのメッセージ

今回のコンサートは「女性のイメージ」→「マリア像」→「マリア像が象徴  
的な物語」→「小説家アナトール・フランスの短編」→「アトナール(無調  
の音楽)?」という連想ゲームがきっかけでした。

それから「ものをつくる人々の(キモチ)そのもの」を一つの作品とし  
て「かたちにできないものだろうか?」ということで生まれた「大人の  
ための音楽付き童話」です。もちろんお子様にも、楽しんでいただけます。

「ここにある作品も、ここにいる人もみんなバルナベさんです。と同時に  
マリア様でもあるのです。」

人と人が、あるいは作品と作品とが、何かのきっかけで出会い、何か  
を感じたり考えたりすることは、やっぱり面白い!

そんな風に考えてみた「現実にいる等身大の女性」3人が演奏し朗読し  
ます。これがきくと、展示作品とみなさん、そしてわたしたちとの素敵  
な出会いとなりますように!

### ●朗読

アナトール・フランス『聖母の軽業師』より

(\*朗読用に編集)

### ●音楽

ロジェ・ブートリノー Roger Boutry

「12の無調の練習曲」 Douze Etudes Atonales より

エリック・サティ Erik Satie

「オジーブ 第1番」 Ogives No.1 より

【美術を楽しむ・わたくし流】では、所蔵作品展に関連して、音  
楽や舞踊など、幅広い分野の催しを開催します。様々な分野の  
方の美術へのアプローチの仕方を通じて、みなさんの「わたく  
し流」の楽しみ方を発見していただきたいと願っています。

今回は、19世紀後半から20世紀初頭にかけて活躍したフラ  
ンスの小説家、アナトール・フランスの短編『聖母の軽業師』  
と、無調(アトナール)の音楽とを掛け合わせて、今回のために  
創作された朗読と音楽による催しです。

### 所蔵作品展「徳島のコレクション2008-I」

特集・女性のイメージ

2007年12月20日(木) - 2008年3月16日(日)

開館時間: 9時30分-17時

休館日: 月曜日 ただし月曜日が祝日に当たるときは、その翌日。

観覧料: 一般200円/高・大学生100円/小・中生50円

(土・日・祝日は、小・中・高生は無料です)

徳島県立近代美術館

徳島市八万町向寺山 088-668-1088